

ほおずきの栽培について

◎ほおずきは鮮やかな朱色の大きな実がたくさん付き、宮崎では中山間地域を中心に作られています。中山間地域は高齢化による生産者の減少が課題となっており、新規就農者の確保が求められています。

◎7月に東京で催されるほおずき市に合わせた生産と、8月のお盆の時期に合わせた生産を行っており、幻想的な見た目から、夏の風物詩や縁起物として需要があります。



■年間の主な作業スケジュール

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		◎	---	---	---	---	■	■			
播種 ○	定植 ◎	仮植 ×	山上 △	生育期間 —	被覆開始 //	加温開始 ∩	整枝剪定 X	トンネルかけ ∩	収穫期間 ■		

■労働時間など

◇労働時間

- ・年間労働時間は約574時間（10a当たり、被雇用者分を含む）です。
- ・収穫、出荷を行う8月に年間労働時間の5割が集中します。栽培期間中の労力は少ないですが、出荷期が短いため収穫・出荷調整等、短期間に相当の労力を要します。

◇その他

- ・栽培期間が限られるので、他品目と組みあせた複合経営が多いです。
- ・施設（ハウス）は雨よけでも良いですが、低温期はハウスのサイドもビニルを張り保温します。
- ・前年栽培した地下茎を次年度の苗としますが、ウイルス感染がみられる場合は、実生苗由来の地下茎を利用します。
- ・連作障害が出やすいため、作付け前に土壌消毒を行います。

■経営のめやす（10aのハウスで栽培する場合）※上位30%の優良事例

売上①：収量7680本 × 販売単価329円／本 = 2,527千円
 経費②：肥料、農薬、資材、販売手数料、減価償却費等 2,133千円
 所得①－②：394千円（所得率 約15.6%）